

## AE0輸入者に対する延納担保の改正

2024年の関税改正法案に共産党が反対した。2011年改正で反対した後、2012年からは賛成しており13年ぶりに反対したことになる。

今年の反対に転じた理由は、AE0輸入者に対する延納担保を、必須担保から保全担保にするのが大企業偏重であるというものである。

制度的には、AE0輸入者、つまり特例輸入者は大企業ばかりではなく中小企業でももちろん可能であるが、公表されている特例輸入者のほとんどは、大企業であることはたしかである。しかしながら延納において担保を求める理由は、税の徴収確保である。従ってAE0輸入者の審査において経営状態も確認しているの、徴収に問題がないとして必須担保を廃止し、個別に問題があるときに限り任意担保を要求することとしたものであり、結果的に徴収に問題のある可能性の高い中小企業が担保のa対象となることが多くなっても何ら問題ではない。と答弁すればよかったのに。でもそこまでいうと自民党からもつるし上げになりかねないか（笑）

また、特例輸入者の輸入者の輸入申告がすべて特例輸入申告であるかというところではなく、数値的なデータは公表されていないが、実のところ、特例輸入申告はほとんど利用されていない。

手間がかかるわりにメリットがないのが実際にところである。